

スズキ、小型乗用車「バレーノ」の ターボエンジン搭載車をレギュラーガソリン仕様に変更



「バレーノ XT」

スズキ株式会社は、ハッチバックタイプの小型乗用車「バレーノ」の1.0Lターボエンジン搭載車の使用燃料をプレミアムガソリンからレギュラーガソリンに変更し、5月16日より発売する。

小型乗用車「バレーノ」は、2016年3月から国内で販売を開始し、1.2L自然吸気エンジンと1.0Lターボエンジン*の2種類を設定している。

今回、1.0Lターボエンジンを1.2L自然吸気エンジンと同様、経済的なレギュラーガソリン仕様に変更することで、幅広いお客様に選んでいただけるようにした。

「バレーノ」は、インドの子会社であるマルチ・スズキ・インディア社で生産し、日本で輸入車として販売するスズキのグローバルコンパクトカーである。

※ 1.0Lターボエンジン搭載車は2016年5月から発売開始。

●メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

商品名	機種名	エンジン	駆動	変速機	燃料消費率 JC08モード走行 (km/L)	価格(円)
バレーノ	XT	1.0L DOHC VVT 直噴ターボ	2WD	6AT	19.6	1,728,000

* 2WDは前輪駆動。

* 価格には、リサイクル料金、保険料、税金(除く消費税)、登録等に伴う費用は含まれない。

* プレミアムシルバーメタリック3、アークティックホワイトパール塗装車は、21,600円高。